



平成29年度中芸のゆずと森林鉄道

入場無料
申込不要



JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産研究報告

「森林鉄道から日本一のゆずロードへ：ゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化」として日本遺産に認定された高知県中芸地域（奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）では、日本遺産ミュージアム（仮称）の実現に向けた研究報告会を開催します。

中芸の日本遺産には、暮らしの中で育まれてきたゆず文化、森林鉄道文化、食文化さらには自然・歴史などストーリーを構成する様々な文化財・地域資源がちりばめられています。今回の研究報告会では、中芸の日本遺産を訪れる方々や中芸地域にお住まいの方々に対して、日本遺産の何を・どのように・どうやって伝えていくのかを検討します。

多くの皆様にご参加を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年2月3日(土)

13:00~16:30
(開場12:30)

安田町集落活動センターなかやま
高知県安芸郡安田町正弘1538



1部 13:00~15:00

【基調講演】

- ①全国調査からみたミュージアムの現状と課題
- ②アートの視点で日本遺産をどう伝えるか

2部 15:15~16:30

【パネルディスカッション】

日本遺産の何を・どのように・どうやって伝えるか

主催
高知大学地域連携推進センター

後援
中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会

日本遺産「森林鉄道から日本一のゆずロードへ：ゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化」

南国土佐の東に位置する中芸地域。かつて西日本最大の森林鉄道が駆け巡った中芸は、林業に代わる産業としてゆず栽培に力を注ぎ、今や日本一の生産量を誇っている。木材を運んだ森林鉄道の軌道は、ゆず畑の風景広がる「ゆずロード」に生まれ変わったのである。(認定ストーリーより抜粋)

本研究報告会は平成29年度日本遺産魅力発信推進事業補助金で実施されます。

スケジュール

13:00 【挨拶】 赤池慎吾（高知大学）

13:15 【第1部】

○基調講演1/奥山洋一郎（鹿児島大学農学部）

「森林・林業博物館の全国調査からみたミュージアムの現状と課題」

○基調講演2/松本志帆子（藁工ミュージアム）

「アートの視点で中芸の日本遺産をどう考えるか」

15:00 【第2部】

○コメント/田村早苗（公益社団法人青森県林業会議参与）

○パネルディスカッション/コメンテーター岩佐光広（高知大学）

住民・行政職員・研究者との意見交換を予定しています。

16:30 終了

会場のご案内

集落活動センターなかやま

〒781-6430

高知県安芸郡安田町大字正弘1538
（土佐くろしお鉄道安田駅から約5km）

会場駐車場をご利用ください。



魚梁瀬森林鉄道 ジオラマコーナー

森林鉄道と暮らしのを再現したジオラマがエントランスに展示されています。



お問い合わせ 連絡先



TEL.080-2982-8762

（高知大学 担当：赤池）

詳細はWEBで。



<http://www.kochi-coc.jp/info/dtl.php?ID=1016&routekbn=S>